



昭和十三年十月十一日

時局特報

(第四十號)

極秘

臺灣總督官房外務部

主要資料名略號

	Canton Daily Sun. D.	C. D. S.
	China Weekly Review. W.	C. W. R.
	North China Daily News. D.	N. C. D. N.
	South China Morning Post. D.	S. C. M. P.
支 那	新 聞 報、 日、	新聞報
	申 報、 日、	申報
	廣東七十二行商報、 日、	廣商報
	廣州共和報、 日、	廣和報
	Manila Daily Bulletin. D.	M. D. B.
比 律 賓	Philippine Herald. D.	P. H.
	Tribune. D.	T.
	Opinion. D.	O.
印 度 支 那	Courrier d'Haiphong. D.	C. d. H.
暹 羅	Bangkok Times. D.	B. T.
	Siam Chronicle. D.	S. C.
馬 來	Singapore Free Press. D.	S. F. P.
	Straits Times. D.	S. T.
蘭 領 印 度	Bataviasch Nieuwsblad. D.	B. N.
	Soerabaiasch Handelsblad. D.	S. H.
其 他	Asie Francaise (Paris) M.	A. F.
	Economist (London) W.	E.
	France-Outre-Mer (Paris)	F. O. M.
	London Times. W.	L. T.
	New York Times. D.	N. Y. T.
	Nieuw Rotterdamse Courant. D.	N. R. C.
	Statist. (London) W.	S.
	(備 考) D. - Daily, W. - Weekly	
	日 - 日 刊	

支 那 一

- 一、湖南省長沅水路の浚渫計畫
- 二、西北回々教民の抗戰氣分甚だ横溢
- 三、江蘇省の連雲港外に日本軍艦激増
- 四、日本側外國郵便物を抑留検査
- 五、支那貿易中心地は上海より香港へ
- 六、上海浦東側の偽政權阿片公賣を實施計畫
- 七、省政府遷出後の福州近況
- 八、空襲下廣東市文化機關の被害統計
- 九、時局に於ける南支那の地位

暹 羅 二三

- 一、日貨ボイコットの有力華商五名追放
- 二、自動車にて反日ビラ撒布中の華僑を逮捕

臺灣總督官房外事課

三、華僑勞働者排斥問題に就て

馬 來 二九

- 一、雙十節當日新嘉坡に於て華僑聯合會開催
- 二、在ネグリスマピラン州華僑の送金
- 三、サラワクの新飛行場
- 四、空前の大戦費
- 五、新嘉坡埠頭苦力の罷業
- 六、出雲艦に艦齡來る
- 七、英、極東空軍飛行機製造工場を濠洲に設立せん
- 八、蘭印海軍に水雷艇増設
- 九、英領ニウギニアの空中測量

タイプライター用紙

一、湖南省長沅水路の浚渫計畫

(長沙通信) 湖南省長沙より同省西部地方に至る徑路には湘黔公路の外、沅江を遡つて常德を經、沅陵に至る所謂長沅水路がある。然るに目下湘西一帶は已に對日抗戰上の後方重要地點となり、軍馬の來往は愈々頻繁を加へて來たので、湘黔公路のみを以てしては、到底充分なる輸送能力を發揮することが出来ない。由來、長沅水路は、其の常德以東の下流々域は、河幅が廣くて水量も多いから、帆船はふるか、汽船も均しく自由に航行することが出来るが、唯だ沅陵と常德との區間は河床の凹凸が甚しくて、險灘が隨處に散在し、従つて水流も甚だ急であるから、屢々船が顛覆するの不幸事さへ發生した。又桃源並に漢壽一帶では河中に淺瀬があり、冬春の候には、舟運が全く不

臺灣總督官房外事課

便となるから、常德以西の上流々域は、往時から恐るべき難航路と認められ、一般の運輸には左して充分に利用されなかつた。湖南省政府設立の水利委員會は今般戰時運輸の便利を圖らむが爲め、特に長沅水路の整理を計畫し、少なくとも二十噸前後の船舶が自由に航行出来るやうにしたいと言はれてゐる。其の沅江整理方法としては、先づ水流を緩和し水深を深くするを原則とし、自余の灘洲なんかは航行に支障のあるものだけを除去することになつてゐる。又同委員會は右經費を節約しつつ工事を急ぎ、依て以て現下の非常事態に對應せむが爲め、頃來水流の實情に基いて、緩急併用の整理方法を考慮しつつあるが、他面已に取敢へず、長沅水道整理工程等備處を設立し、工事準備に着手したと云はれ、而して右經費總額は銀四十六萬三千餘元であつて、其の内の一部は省政府が之を補助し、自余の大半は同委員會の水利經費を以て充當されることになつてゐると。

(九・二三一文瀟報)

タイフンライター用紙

二、西北回々教民の抗戰氣分甚だ横溢

(西安電報) 陝西省西安に於ける回々教民の、中央抗戰並に建國を擁護するが爲の獻旗大會は、九月二十一日午前九時、同市革命公園に於て行はれたが、其の參會者は西北回々教民の代表及西安市内に於ける回々教團體員等で、無慮五萬餘人を算した。此の大會は終始洵に盛大極に行はれたが、當時孫錦雲なる者が司會者となつた。孫は一同の敬禮後、西北支那の回々教住民が眞劍に、中央當局の抗戰並に建國を擁護する決意を有する旨を披瀝し、續いて青寧抗敵救國宣傳團長王月波が、西北支那に於ける抗戰宣傳工作の經過及現狀に就いて、報告するところがあつた。最後に參會者一同は、西安行營主任蔣鼎文に對し獻旗の禮を行なつたが、本大會は終始回々教の固有儀式を用ひた事でもあり、極めて莊重な觀があつた。蔣行營主任は接旗後一段高いところに登つて一席の訓示を試み、又列席の中央委員

臺灣總督官房外事課

張繼も、回々教民の愛國精神を賞揚するが如き演説をやつた。本大會は午前十一時に解散され、嗣て午後一時頃まで市中遊行を行つたが、席上(一)世界中の回々教民族に對し一致して日本を肩擔するやう通電すること、(二)中央の抗戰建國を擁護し蔣委員長に敬意を表するの通電を發すること、(三)前線の抗敵將兵に對し慰問の通電を出すこと等を、衆議一決した趣であると。

(九・二三—文瀾報)

三、江蘇省の連雲港外に日本軍艦激増

(淮陰電報) 江蘇省の連雲港方面には、九月十五日以來、日本軍艦が十三隻に激増し、同十七日早朝には敵艦は飛行機七機及艦内大砲を用ひて、支那軍に猛攻撃を加へ、同時に水兵七八百名を上陸させ、孫家山及東陶庵一帶より支那軍を包圍攻撃せしめた。當時敵軍の海陸兩方面から發射した大小の砲彈は凡

そ八百餘發にも達し、其の爲めに支那側の陣地、陳莊、亂石頭及門
 嶺山等は、悉く破壊され、死傷者が甚だ多かつた。此の時支那
 軍某兵團の一營は、極力防戦し容易に後退を肯じなかつたから
 遂に營長以下全營の將兵は、枕を並べて殉國するに至つた。由
 來、同地方面の支那側陣地は海濱に突出し、地勢上防禦は甚だ
 困難であつたから、同日夜半遂に敵軍の占據するところとなつ
 た。尤も其の後、支那軍は増援部隊を得て一死報國の精神を振
 起し逆襲に努力した結果、同日拂曉には辛じて之を奪回した。
 其の時支那軍は戦勝の勢に乘じ、敵軍を急追撃したが、又端な
 くも亂石頭で日本軍に遭遇し、遂に終夜激戦を余儀なくされる
 に至つた爲めもあり、敵友軍とも多数の犠牲者を出すに至つた。
 翌十八日拂曉支那軍は更に有力部隊の増援を得たから再び總攻
 撃を開始し、苦戦の末遂に亂石頭及五道溝一帶を完全に奪回し
 た。敵軍は於是乎孫家山に後退し、爾來對峙中であると。

臺灣總督官房外事課

(一九・二三一文滙報)

四、日本側外國郵便物を抑留検査

九月二十三日前の上海大陸報の報道に據れば、同紙記者某は
 昨二十二日、上海郵政總局の某當局者を往訪し、外國郵便物の
 抑留検査問題に就いて、探査するところがあつたが、郵政總局
 側は曰く、「凡そ信書は番留郵便の遞送方法に依つてこそ始め
 て、其の安全を保障されるものである」と公言したが、此の言
 に徴しても外國郵便物は已に、日本側検査員の不當な干渉を受
 けつつあることが分るであらう。而も總局側は續けて言ふに、
 「信書は之を番留郵便にしたからとて、必ずしも其の絶対安全
 を保障される譯ではない。之は單に番留郵便の遞送方法を用ひ
 てゐることを示すだけであるから當該信書が抑留検査されるか
 どうかは、全く關知するところではない」と附言した。尤も局

例再三の説明に依れば、此の種郵便物検査員は、先づ数多い郵便物の中より疑はしき信書をピツク・アップジ之を事務室へ拂へて検査するものであるが、其の採取りは僅々三十通位に過ぎない。而も検査員の事務室は、外部との交通を断たれたる郵政總局内の一部署で、絶対に紛失の惧がない。實際上は三十通中の一通だけ検閲され従つて遞送遅延を余儀なくされるから殆んど問題にならないと、然るに昨二十二日には米國最近出版の著名週刊物たる「贈答拾錦」は日本側検査員に抑留されたと噂されつつあるが、其の理由は皆目不明であると。

(一九・二四「文匯報」)

五、支那貿易中心地は上海より香港へ

上海は日支戦争前にありては、支那全國の貿易中心地であり、經濟界の樞軸であり、又極東唯一の大港都でもあつた。併し乍

臺灣總督官房外事課

ら上海戦役後は其の情況激變し、支那經濟界の重心は香港へ移動したかの如く現に主要貨物の輸出入は一律同地を經由するとなつた爲め、香港の輸出入貿易は遂に一躍して長足の進歩を遂げるに至つた。即ち去年上半年の香港貿易總額は五億五百餘萬弗であつたが、今年上半年には六億一千二百餘萬弗を算し無慮一億七百餘萬弗の激増を見るに至つたのである。

茲一年來に於ける香港貿易の著増は、適々上海貿易の激減と一反比例を爲し、從來上海の東亞貿易市場に占めた繁榮は總て香港に奪はれむとするの形勢にある。蓋し日本商品は數年來南支各地に於て極端な「ダンピング」を演じ、其の潛勢力も伸々強大であつたから、夙に關係英國商人をして甚しく不安を感じしめるに至つた。更に香港目體も古來世界に自由貿易を以て名高かつた反面に於て殆んど日本商品の伸縮地たるが如き觀さへあつたが、日支戦争勃發して以來、日本の香港貿易に占める地

位は一落千丈の懸境に突落されてしまった。

香港の輸出入貿易が斯くも長足の進歩を遂げた唯一の原因は取りも直さず日支戦争の好影響そのものであるが、廣九鐵道と粵漢鐵道との運輸聯絡も又興つて力が大であつたであらうと。

(一九・二三一導報)

六、上海浦東側の偽政權阿片公賣を實施計畫

上海市浦東側の偽政權は、歳入増加を圖らむが爲めに、阿片の公賣を實施すべく計畫しつつあるが、惟ふに日支交戦區域にありては、阿片は殆んど杜絶し、俗に「燕子菜」と稱せられる阿片煙館も先づ全滅に近かつた。蓋しモルヒネとかヘロインとかコカイン等は、多量に持込まれ盛んに用ひられるから阿片は自然に淘汰されたことであらう。併しながら浦東、南市及羅西一帶にありては、毒物供給の家庭が隨處に見受けられるが、之

臺灣總督官房外事課

は勿論偽政權が熊と取締を勵行しない爲めであると思はれ、其の結果煙館の存在は最早公然の秘密となり、一般の支那人癮者には其の中に沈淪して容易に浮かばうとしない。消息通の說に據れば浦東一小地方だけでも、此の種毒物供給所が三百餘軒を算し其の他南市二百餘軒、滬西三百餘軒と云ふ風に數多くあるが一般住民はおろか、偽政權の警察官吏、警察隊員乃至は普通公務員まで盛んに之に出入しつとありと言ふ。目下上海市郊外の阿片中毒者は、少なくとも五萬餘人と見積られるが、之は即ち全住民三十萬人の六分の一に相當し、換言すれば大人に一人が阿片癮者であることが分り、支那民族の生存發展上海に由々しい問題でなければならぬと。

(一九・二一一導報)

七、省政府遷出後の福州近況

(福州國民社通信) 一福州が福建「省會」即福建全省政治の

樞軸地たることは唐時代より現在に至るまで一千餘年の久しきに亘つた。これ全く福州の地勢が海に濱して船舶常に輻輳し、水陸の交通亦た便利を極める天恵に依るものである。ところが日清戦争後僅か一衣帯水の東海にある臺灣を日本に割譲せるや福州は遂に國防上の藩屏を失ひ、今回の抗戦で日敵の威脅を加實に感受し、隨時襲撃さるる危険性がある。省當局は福州保衛に對し閩江入口を遮斷したり、沿海に大部隊を配置し省政府を永安に移轉せる等準備を充分整つてゐるから最近の福州は平穩にして民心も落付いて居る。

政治方面は省政府を永安に移轉後表面上「省會」の名稱は消えたが、實質上は依然全省黨政軍の中樞地位を失つてゐない。省主席陳儀は福州に残留し元省政府内に主席辦公廳を設けてあり、軍事最高機關は綏靖公署及保安處も移轉しないが、黨部最高機關は省黨部及全省抗敵工作最高領袖機關は省抗敵後援會並

臺灣總督官房外事課

に閩浙監察使署も福州に頑張つて居り、省政府各廳も夫々福州に辦事處を置き、廳長は教育廳長鄭貞文が永安省政府に行つてゐる外民政、財政、建設各廳長は福州に居残り、福州辦事處の公務が却つて永安本廳より繁忙の状態である。只「省會」の名稱が消えた爲今迄「省會」二字を冠せる官署の肩書を改稱するだけで、例へば省會警察局長を福州警察局長、省會稅務局長を福州稅務局長、福州衛生事務所等に變更せるが如きである。

軍事配備は福州の軍事配備は非常に充實してゐる。閩江々口を封鎖後敵軍が溯江して犯し來ることは容易ならざる仕業である。殊に沿海谷地に鞏固の陣地を築き精銳の大部隊を配置してあるから、敵軍が漫然と進攻して來れば必ずや一大打撃を免かれなう。此の數個月來敵軍は屢次福州附近の連江、長樂、福清三縣の沿岸から上陸を企圖したが其の都度我軍の爲

に撃退され、現に軍隊と武装壯丁が協力して嚴重に善戦してゐる。

教育現況—福州は全省文化の中心地にして、大學は私立ばかりで協和、福建及華南文理（女子）三學院、中學は公私立二十餘校あつたが、省政府遷出後殆んど閩西北に移轉し學生は遠隔の故を以て停學せる者夥しく、實に文化上一大損失である。公私立小學五十餘校は從來は省會教育局の所管なりし處同局の撤廢に伴ひ閩使縣管轄に移屬せしめたが經費は著しく削減され各校共維持難の悲鳴を揚げてゐる。

商業狀況—省政府を永安に移轉後各機關の公務員及附屬商工業者も同時に福州を退出し福州は俄かに多數の消費者を失へる爲、各種商業取分け飲食、食料、什貨、呉服各商店は底知らずの衰落に陥り倒閉續出の有様である。福州唯一の特産物—茶及杉木は事變直後一時は積出不能で業者を啼かしたが、最近數ヶ

臺灣總督官房外事課

月來は盛んに上海、天津及北平方面へ移出し何れも互利を博して北度笑んでゐる。手工業の織布業も漸次活氣を呈し、永らく操業中止中の福建造紙廠もこの間復工を見、業績順調の由である。

社會動靜—抗戰發生後市民は恐日病に襲はれて省外各地又は省内奥地へ避難せる者非常に多く、戸口も甚しい變動を來した。福州警察局の總調査に依ると去る六月末現在人口三二四、九七三人、事變前の三八七、二六六人に比し六二、二九二人の激減になつてゐるが近來續々復歸し現在は三十四萬人ありと稱してゐる。

要するに福州は國防最前線である。今は無事の様であるが之れは決して日敵が福州を忘れたのではなく未だ魔手を伸ばす餘裕がないからである。遠からざる將來に必ず日敵との一大決戦を避れない故、相互に油斷を戒め何時も滿を持し以て日敵を撃

退する様緊張せよ。

(一九三七・七一大美晚報)

八、空襲下廣州市文化機關の被害統計

廣州通信一昨十二日(九月)市政府紀念週席上に於て市社會局劉局長は首題に關する報告演説を試みたが其の内容は次の如くである。

暴虐なる敵機は去年八、九月から今日まで足掛一年、間斷なく其の暴威を我廣州市に逞うせるも、我廣州市は依然吾々の掌中に在る廣州市であり、我軍民一體の抗戰決心と熱情も未だに挫折を生ぜず、其の暴虐未だ吾人を威脅するに足らざるのみか、却つて吾人の敵愾心を刺戟助長するものがある。但し物質上に於ては少からざる非武装市民の生命、財産及教育文化機關の犠牲を出したることは遺憾の至りで、茲に教育文化の損害のみに付概括的に報告する。

臺灣總督官房外事課

教育及文化事業各機關は軍事と直接關係なく、固より軍事的施設もなき故、侵略者にして故意に之を蹂躪せんと意圖するなから格別、さもなければ投彈の目標たるを許さないもので、敵人の宣傳にも「教育及文化機關の爆撃を否認する旨屢々繰返されてゐる。殊に去る八月二十九日東京放送局は「廣州市の學院を未だ一つも空爆を加へたこととはなく、各學校も損害を蒙つたところはない」と放送した。然しかかる自欺々人の放送に對し、苟しくも空爆後の廣州市慘狀を一目したることのある公正人士は噴飯せざるを得ないであらう。當局の調査に依れば敵機の爆彈洗禮を受けた教育文化機關は六十一ヶ所あつて、之を左記十種に區別することが出来る。

- 一、大學(三)一嶺南、勳勤、中山の三大學、何れも何回ともなく反復投彈を受けたが幸に命中を免かれた。
- 二、附屬中學(一)一中山大學の附屬中學は塙壁が毀損され死

傷者多数を出した。

三、市立中學（四）―二中は圖書館全壊、第二職業は損害輕微、初等中學の集訓班男生校舎は全壊且職員備役合計十一名の死傷者を出し、初等中學女生校舎の大半は破壊され、器具の損害亦莫大であつた。

四、私立中學（八）―廣東、執信、遠東、思々、立達、志銳、仲元の七中學及廣東調劑學校。

五、外人關係の私立中學（七）―美華中學、協和女中、協和男中、中德中學、聖希理達中學、中華聖公會培德女學、培正中學等。

六、市立小學（二〇）―第十、第十八、第三十一、第八十四、第二十八、第五十、第六十四、第五、第二十一、第十六、第六十一、第八十五、第二十七、第三十五、第五十七、第六、第六十七、第七十一、第四十九、第十三等、益都又は一部分

臺灣總督官房外事課

破壊のところもあつて就中罹害の最大最慘なるところは第二十八、第六十四、第二十一、第六十一、第六十七、第四十九の六校である。

七、市立民衆教育實驗區（四）―第三、第五、第九、第十の四區、此内第三、九兩區の損害最も巨大である。

八、私立小學（六）―知難、南中、相長、愛育、中正の五校及警察家族學校。

九、外人關係の私立小學（六）―淑正、淑貞、日新、正光及聖三一附屬小學、靈光幼稚園。

十、教會堂（二）―石室天主堂及廣大路耶穌教禮拜堂、其中石室天主堂の如き損害の大きく且死傷の多いことは中外人士を震駭せしむるものがある。

以上の數字のみを以てしても敵人の欺瞞的宣傳を粉碎するに足るもので、殊に去る六月六日の一日中に無辜市民の住宅、商

店が夥しく爆破されたる外、教育及文化機關は驚く勿れ十二ヶ所も投彈を受けた。社會局では更に詳細調査のところ、之等受難の教育文化各機關は何等軍事施設がないことは勿論のこと、其の附近にも軍事機關と云ふ程の建物はなく、敵機が強いて類似の軍事機關と認め爆撃せざるを快しとしない建物目標も、之等教育文化機關と遙かに遠隔してゐる。例へば蓄發電所を爆撃する積りか、其の爆彈は石室天主堂に落ち、新發電所の空爆を目標とするか？協和女中及美華中學に命中し、又省政府を爆破する爲に第十八小學校に落彈し、市政府を目當に投擲の處外れて巨彈は初等中學を見舞ふなど、毫厘を誤れば千里の差を開くと云ふが如く、恨むべき笑柄である。敵人は再三教育及文化機關は決して爆撃しないと宣傳せるも、事實爆撃したではないか。要するに敵人は表面上斯く宣傳するも、其實我教育及文化機關を撲滅する悪意を存するか？さもなければ投彈技術の拙劣たる

臺灣總督官房外事課

所謂盲爆狂爆の譏りを免かれないものである。

(一九一九及九二二、文瀾報)

九、時局に於ける南支那の地位

従前大いに喧傳された日本の廣東侵略は無期延期され、今後南支那に於ける抗日運動が更に熾烈さを加ふるに非ざる限り日本軍の攻撃は放棄せられるであらうとの消息が香港官邊に於て洩らされてゐる。この日本の聲明は英吉利人其他の外人社會に流布され、香港を訪れたる支那滿鐵官吏及香港在住支那人も亦かかる噂を聞いたものがある。しかし元來日本は廣東省沿岸の島嶼、例へば San Tsao (三壟島) Ho Paó, Namao (南澳島) の如き島嶼の占據はこれを別論として、廣東省本土の侵略を開始しないであらうとの見解は多數識者の實際に信ずるところである。故に香港に齎された敘上の日本の聲明は支那官憲及び英

吉利商人に對し、通商取引は妨害せらるるの不安無く繼續せられ繁榮し得べきことの意味を傳達するにあり、他の一つの動機は軍需品の戦線への輸送を今後繼續せざることを條件として日本が廣東を軍事策戦地域から除外せんことを希望するにありと見られてゐる。

しかし廣東省は支那全體に對し不可欠の部分であるから絃上の臆測は明かに不可能である。この理由のため廣九、粵漢兩鐵道は日々爆撃せられた。香港、漢口間直通列車は殆んど十日間不通となつた。楊子江流域地方及湖南から廣州に到着する郵便物は歐亞航空郵便の二十四時間に對し、十二日以上かかる。

歐亞航空公司も亦一週間以上に亘り休航したが幸にも今週中には再び飛行を開始する豫定である。廣東は新鋭軍隊を戦線に送ること無く、全く防禦的位置に立つてゐる。

日本が南支那へ進軍のため、軍隊を向ける餘裕のないことは

臺灣總督官房外事課

敵者間に於て一般に認められるところである。東京の參謀本部は既に滿洲及北支那に於て約百萬人を動員した。そして日本陸軍の精粹は楊子江にあり、武漢（漢口、漢陽、武昌）進撃に従軍してゐる。北支那の日本軍中には年齢四十才乃至四十五才、商店員若は職人より召集せられたものもある。

比較的精銳部隊が蘇滿國境に駐兵し、將來の衝突に備へて居る。斯かる情勢下に於て南支那策戦に利用し得べき軍隊の無いことは明瞭である。さりながら若し武漢が日本の手中に陥る時は廣州の重要性更に大を加へるの事實は否定することは出来ない。楊子江に於ける支那軍隊は勇敢なる防衛戦を演じ、日本軍多數の生命に對し莫大なる代價を強要しつつある。廣東省の防空施設充實のため省民並に海外同胞より千萬弗の獻金がなされ空爆に對する護りは彌々固い。確かに廣州は支那に於けるのみならず、東亞に於ても亦非常に重要な地位を占むることになつた。

(一九一五 LODS)

ライフライター用紙

一、日貨ボイコットの有力華商五名追放

最近逮捕された日貨ボイコット團の有力華僑商人九名（本特報三十八號參照）中五名は支那本土へ送還（追放）されることとなり、殘餘の四名は保釋金納付の上、釋放されることに決定した。

（八・二二一B C）

二、自動車にて反日ビラ撒布中の華僑を逮捕

去る十二日より當地華僑の中元祭が始まつたが、昨十四日夜祭禮に賑ふ當市（盤谷）ラーマ四世通りを自動車を雇つて傳單を撒布中の者あるを發見、傳單の内容は日貨ボイコットの懲罰せるものであつたので、直ちに警官隊が追跡、乗車せる三人の華僑を逮捕、車内に積まれた多數の傳單を押収した。

臺灣總督官房外事課

（八・一四一B T）

三、華僑労働者排斥問題に就て

八月十七日の暹羅議會に於てナコン・ラーチンマー選出議員ナイ・ルエン・ボンソボン氏提案に係る外國人労働者排斥法案が上提論議され、國際的並に國內的諸環境の爲め同案の審議は時期尚早なりとの政府側の主張に依り、將來適當の時期に再考することとして、同案の審議は一應打ち切らるることとなつたが、同日の議會に於ける討論の内容が傳へらるるや、暹羅労働界を支配してゐる華僑側に大衝激を與へ、提案者ナイ・ルエン氏に對し「暹羅華僑國粹會」の名に依つて脅迫狀が送らるる等の騒ぎまであつたことは既報（第三十九號參照）せるところであるが、本問題に關しサイアム・クロニクル紙は次の如き社説を掲載してゐる。

「暹羅労働界に對する外國人労働者主として華僑労働者の脅威の問題は暹羅商業界に於ける外國人（主として華僑）占據問題と同一意義を有する。即ち暹羅商業の大部分は外人の手に委ねられてゐるところであるが、暹羅に於ける労働界もそれと多少の差はあれ同じく外國人の手中にある。之に對する進歩的且愛國的にして、同時に盛大なる政策は急がず而も着實に事態の改善に努力することであらねばならぬ。（中略）」

外國人労働者が何故に又如何にして暹羅にその市場を見出し、如何にして暹羅労働者と競争してその地盤を築き上げたかを論究することは避けるが、ただ簡単に之を言へば、暹羅に熟練不熟練の外國労働者を必要とする或時期があつたが、その當時暹羅人は一般に激しい労働を好まなかつたと言ひ得るかも知れない。我々暹羅人に對する此の種の批評は眞實であるが、又一面に於て當時の我が國情を顧みれば、必要なかりし故に、激しい

臺灣總督官房外事課

労働に進んで従はうとしなかつたとも言ひ得るであらう。當時の暹羅人の生活は一般に現時よりも恵まれて居つたので、右の如き労働は安易に外國人に與へて顧みなかつたのであるし、其の他、外國人移民に對する我々の厚遇並に親愛が然らしめた事實は無視され得ざるところである。

暹羅に於ては古くより相當教育ある者に對して常に安易な官職が與へられてゐた爲に熟練労働に對しても暹羅人は特別な關心を拂はなかつたのである。此の事は或程度迄暹羅の商業が外人の手に落ちて了つた理由でもある。好機に恵まれて、而も安逸を好むといふことが、我々暹羅人の現在陥つてゐる遺憾なる状態の背景をなしてゐる。然し事態は未だ絶望ではない。我々は此の際出來得る限り速かに事態の改善に對して適切なる方策を採るべきである。

曾て在りし日の生活の安易さと豊かさに比して、我々は今日

頗る困難な時期に遭遇してゐる。而して労働問題の統制並に大規模な商業・貿易の管理の必要に對する認識が漸く一般に覺醒され初めたのであるが、その結果周囲を見廻して各種の事項に亘つて立廻れた暹羅人の姿を次々に發見して今更の如く驚くのである。會て知識階級の職業が官界に保證されてゐた時代は過ぎ去つて、現今に於ては、それは未だ極悪とは言ひ難きも、智識階級は勿論一般大衆の失業問題は早晚深刻な事態を醸すに至るであらう。暹羅農民の經濟的狀態も芳しからず、又暹羅人實業家は其の數少く、而して營業狀態は良好でない。宛も我々は狭い既製の市場を押し込められ、強く外部から壓迫されてゐるやうな感じを持つ。

我々にはかかる壓迫せられた事態が政府の立法のみに依つて匡救出來得るとは信じないものであるが、然し賢明なる立法にしてその運用宜しきを得ば、漸次多大なる効果を擧げ得るに至る

臺灣總督官房外事課

であらう。

我々は決して急進的な變化を希求するものではないのであつて、寧ろ賢明にして進歩的な労働政策を實施し、以つて暹羅人保護の目的に添ふと共に、我國に多大の貢獻をもたらせる外國人労働者の取扱ひに對して急激にして重大なる打撃を與へざらんことを希望するものである。

(八・二八一〇〇)

英領馬來

一、雙十節當日新嘉坡に於て華僑聯合會議開催

東印度各地に散在する華僑代表者數百名は十月十日に新嘉坡に會同することとなつた。

右は國民政府の命により、支那救濟資金収集に關する問題並に資金の徵集に新たなる方法を案出せん爲めである。會議は中國中學校に於て開催され、會期は數日間となつてゐる。

新嘉坡代表者は新嘉坡支那救濟資金會長陳嘉庚を初として Lee

Kong Chian, Ching Kee Sun, Lim Boon Tjan, Tan Chin Hian,

Lee Chin Tjan, Low Say Huan, Tan Eng Khiam, Chew Hian Swei

Jan Swei Bun, Tong Seng Hae And Lee Choon Seng

の諸氏で、其他ポンチアン、ラングーン、印度支那、盤谷、香港、比律賓、爪哇、スマトラ及其他蘭領印度各地より多數委員が參集

臺灣總督官房外事課

すると。

(一九・二一―IST)

二、在ネグリスマピラン州華僑の送金

ネグリスマピラン州(馬來聯邦)在住華僑は支那救濟資金として既に七十萬弗(支那貨)を送金してゐるが、今般又もや海峽群島にて新たに獻金一萬弗が送られる事となつた。之により海峽群島貨による獻金總額は五萬弗に上ると。

(一九・二一―IST)

三、サラワクの新飛行場

クチン(サラワク)の新設飛行場テストの爲め、極東王立空軍第三十六中隊所屬飛行機三基は九月廿五日到着同廿八日歸還の豫定となつてゐる。

サラワク國王により數ヶ月前發表せられてゐたが、クチン及ピントールーの新飛行場は此の程漸く使用に堪えることとなり、

タイフン紙

張以來之が使用は兩飛行場共最初である。
 而して今回新飛行場の開場には何等舉式は行はないと。
 (一九・二一・一五)

四、空前の大戦費

フランクフルタル・ツァイトング紙(フランクフルト発行)は日本の財政的地位に關し「日本は現に同國史上空前の大戦争を行ひつゝ、ありしと懸し別項左記の如き記事を掲載してある。

同紙によれば、一八九四―一九五年(明治廿七、八年)日清戦争は戦費二億圓、一九〇四―一〇五年(明治卅七、八年)日露戦争に於て約二十億圓、滿洲事變(一九三一―三二年)に於ては十四億圓乃至十五億圓を要したと記述し、今次事變發生以來日本政府は戦争目的に七十四億圓を承認され、一九三九年三月迄軍費を支ふるに足ると豫想せられてゐる。

是迄日本は戦争に廿七億圓を費つて居り、日清戦争の十倍、日

臺灣總督官房外事課

露戦争戦費總額より七億圓を超過してゐる。

日本が露軍事豫算五十億圓あり、一九三一年乃至一九三四年度の圓價は三分の二に減じ、日本に於ける卸賣物價は最少戦前の二倍となつ居ると假定しても、日本は未だ會て斯かる財政的負擔に當面したることはない。

假に戦費を七十億圓と見積れば、右金額は正に一九三七年に於ける國家所得總額(最も普通に計算して二百億圓として)の三分の一餘に達す。

同紙は譬へ軍事豫算が七十四億圓を超過せずとしても、殘額四十億圓は來年三月迄に調達されねばならない。一方日本の産業開發所要資金は今年度のみにて二十億圓と日本銀行により推算されてゐる。

如上金額に徴して、單なる物價及市場の統制がよく圓のインフレーションを抑止する所ではないと明記して居り、それ故日本政府

タイプライター用紙

府は國民貯蓄を奨励して今後十二ヶ月間に八十億圓を捻出せねばならず、この目的達成のために既に國民の一人々々の利得より強制的に貯金を勵行せしめてゐる云々。

(一九・二一—一〇一)

五、新嘉坡埠頭苦力の罷業

六月廿一日早朝、新嘉坡のタンジョン・バガ―勞役會社によつて新嘉坡埠頭に使役せる約六百五十人の苦力は小屋を出て、六點にして華民保護局に押寄せストライキを決行した。埠頭に於ては既に印度人労働者を入れ、滞務は繁忙を極めたるも幸にも埠頭事務は之が爲め支障を見なかつた。

罷業者の要求は明瞭ではないが、賃銀の増額にあるものと思はれる。

(一九・二一—一〇一)

六、出雲艦に艦齡來る

臺灣總督官房外事課

(上海、九月七日)

昨年上海戦に於ける支那の反復空爆を脱れたる日本巡洋艦出雲は日本側の報道によれば近く艦齡に到達せんとしてゐる。

上海人により "Biggy Biggy" と呼び名されてゐた同艦は事變記念物として存置する計畫が進められて居り、第十一代出雲艦長竹下平八郎大將は同艦を横須賀に於ける三笠艦の様に軍港に保存し、出雲の名稱は新艦に命名すべしと公式に提案したと云はれる。

同艦は一九〇〇年英蘭に於て進水、日露戦争及世界戦争に参加し一九三二年上海事變當時支那艦隊旗艦となつた。(ロイテル)

(一九・二三—一〇一)

七、英、極東空軍飛行機製造工場を濠洲に設立せん

「ザ・エナロブレイン」誌の報によれば、英國は一朝有事の際極東空軍のあらゆる機具を濠洲飛行機廠により供給せしむべく企

タイプライター用紙

圖してゐる。

濠洲に於て一、二英國飛行機製造工場開設計畫に言及して、同誌は英國政府は新嘉坡への獨立保給地たらしめ、濠洲聯邦及製造業者に飛行機の注文は保證せしむる仕組みといはれてゐる。

因に濠洲はメルボーン近郊に舊式米國軍用機製造工場一を建設したと。
一九・二三一ST

八、蘭印海軍に水雷艇増設

ヘイグよりのロイテル通信によれば、和蘭國防豫算中に蘭領印度海軍に八隻の水雷艇が新造せらるる事となつた。この發表は最近英國(既報)海軍が新型六十呎十八屯水雷艇隊を今後數ヶ月間に香港に派遣すべしとの聲明に追隨するものである。

ザ・タイムズ紙海軍通信員によれば、右スピードは五十節内外であらうと。

臺灣總督官房外事課

因に英國に於ける艦費は各五萬磅で、數ヶ月以内に大英國は三十二隻となるであらう。

一九・二三一ST

九、英領ニウギニアの空中測量

濠洲政府と王立蘭領印度航空會社(KNILM)間に英領ニウギニアの完全なる空中測量に關する商議が進行中である。

和蘭會社は既に隣接蘭領側の大部分を空中より測量し終つたと。

一九・二三一ST

タイプライター用紙